

米農務省(USDA)クロープリポート

(8/12発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年8月17日(火)

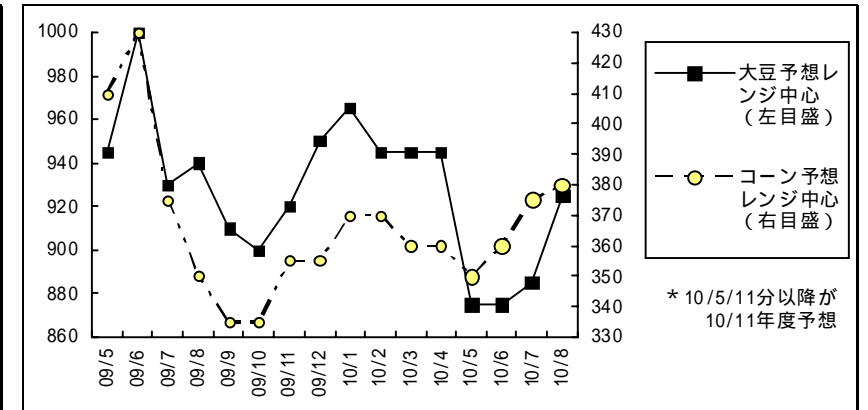
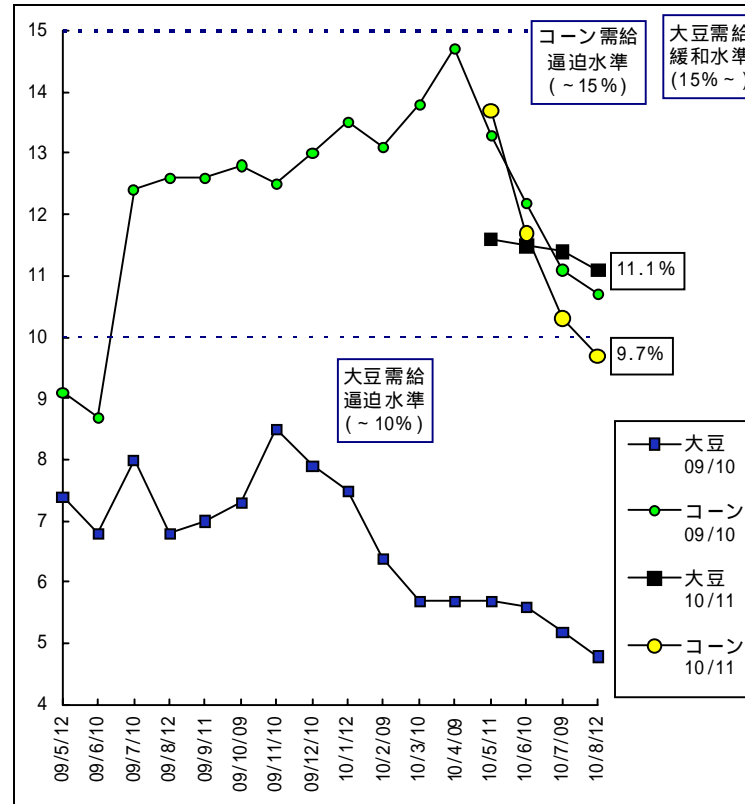
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度		09/10年度	
	8/12	7/9	8/12	7/9
総供給	3603	3530	3512	3512
期初在庫	160	175	138	138
生産	3433	3345	3359	3359
単収(bu/I-カー)	44.0	42.9	44.0	44.0
総需要	3243	3170	3353	3338
国内	1808	1800	1883	1878
輸出	1435	1370	1470	1460
期末在庫	360	360	160	175
期末在庫率	11.1%	11.4%	4.8%	5.2%
農家平均価格	850-1000	810-960	960	955

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度		09/10年度	
	8/12	7/9	8/12	7/9
総供給	14802	14733	14791	14793
期初在庫	1426	1478	1673	1673
生産	13365	13245	13110	13110
単収(bu/I-カー)	165.0	163.5	164.7	164.7
総需要	13490	13360	13365	13315
国内	11440	11410	11390	11365
輸出	2050	1950	1975	1950
期末在庫	1312	1373	1426	1478
期末在庫率	9.7%	10.3%	10.7%	11.1%
農家平均価格	350-410	345-405	350-360	350-360

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11年度の期末在庫率予想は

大豆 [11.1%] = 適正水準 米国内の需給予想(10/11年度分)は、前回から「期初在庫0.15億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高0.88億 bu 増(単収予想を上方修正)」に対して「国内消費0.08億 bu 増、輸出0.65億 bu 増」となり、期末在庫は変わらず・同在庫率0.3ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は40セントも引き上げられた。世界全体の期末在庫予想は下方修正。主要国では、ブラジルの輸出予想が上方修正、中国の期末

在庫予想が下方修正(期初在庫は増加も、飼料需要予想が上方修正)。

コーン [9.7%] = 需給逼迫水準 米国内の需給予想(10/11年度分)は、前回から「期初在庫0.52億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高1.20億 bu 増(単収予想を上方修正)」に対して「国内消費0.30億 bu 増、輸出1.00億 bu 増」となり、期末在庫0.61億 bu 減・同在庫率0.6ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は5セント引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国では、中国の期末在庫予想が下方修正(飼料需要予想が上方修正)。

今回の発表は、いずれも事前予想の範囲内でやや強気寄りと見られる内容。米国の大豆・コーン生産高見通しは事前予想通り過去最高となったが、世界小麦生産見通しの大幅下方修正が輸出面で強気に作用している様子。実際にこのところの米国の輸出は小麦を含めて好調であり、また、小麦高から、主に飼料向けで大豆・コーンへの需要シフトも認められる。市場には、価格面から、今後、この需要シフトが続くと見ている向きもある。なお、ロシアの穀物輸出禁止措置[8/15~12/31予定]をはじめとする旧ソ連圏などの大凶作関連のインパクトから、米国の生産に対する市場の関心は例年ほどではない。